

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

## 謹賀新年



明けましておめでとうございます。皆様健やかな新年を迎えられたことと思います。今年もさまざまな取り組みを紹介したいと思いますので「いちようだより」をよろしくお願いします。

昨年は、九州北部豪雨の災害、ミサイル・核実験を強行した北朝鮮に対する脅威、大企業の巨額損失・破たん、疑惑・不祥事の続く政治の問題など、日本の将来を不安にさせる様々な出来事がありました。

世界のニュースでも、「テロ」という言葉を頻回に耳にするようになったように思います。いつ・どこで起こるか分からない災害やテロ、それに今度はミサイルの飛来など、本当に恐ろしい時代を迎えたと感じております。

災害関係について当院は、日本精神科病院協会の災害支援中心病院とされております。災害発生時には、「会員病院の被災状況・インフラ供給状況の情報収集と本部への情報提供」「必要な支援のニーズを取りまとめ」「被災病院に向けての救護物資の一時集積所」等の多くの役割があります。県内の災害拠点病院・災害拠点精神科病院、行政機関等との常日頃からの連絡・調整を行ない、いつ起こるか分からない大規模災害への対応を、考えていかなければいけないと思っております。

さて、今年の干支は「戌」です。戌年生まれは「勤勉で努力家」と言われております。今年の仕事始めの日、防府病院の院長として職員を前に「向上心を持って何事にも望み、様々な問題解決の為に、一人だけではなくチーム全員で努力しましょう」と新年のあいさつをしました。また、平成30年を「改革の年」と位置づけ、人事・就業規則・業務システムを一つ一つ見直していきたいと考えております。

今年は診療報酬と介護報酬のダブル改定の年です。マイナス改定となるようで、経営と言う視点での医療業界は、益々厳しい年を迎える事となります。

このような時代を、全職員が「以和為貴」の精神を再認識して、地域医療の役割を果たしつつも医療の質の向上に、努力してまいりたいと考えております。

今年が皆様方にとってよい年でありますよう祈念いたします。



# クリスマス会



12月22日(金)に一足早い防府病院クリスマス会を開催致しました。

前半は各病棟対抗のカラオケ大会を行い、普段の作業療法で練習を重ねてきた曲をみなさんの前で堂々と披露してくださいました。後半のクリスマスコンサートでは荒瀬先生・安永先生をお招きし、定番のクリスマスソングから日本昔話の童謡まで幅広い曲をご披露していただきました。また、患者さんのハンドベル演奏と先生方との「ジングルベル」のコラボ演奏も実現し、素敵なハーモニーを奏でました。心地よい曲の数々に、患者さん、スタッフ一同素敵なクリスマスの時間を過ごすことができました。

カラオケ大会(左)とクリスマスコンサート(右)



# 餅つき

昨年12月28日、当院の年末恒例行事である餅つきを行いました。

毎年、初臼の臼取りは院長が努めていましたが、今年は世代交代をして若い4代目がベテランたちから教わりながら、臼取りを努めました。

前日は風が強く、当日も強風が心配されましたが天候にも恵まれ、患者さんの元気な掛け声とともに付き上がったお餅は、丸める体験もしていただき、鏡餅として病院に飾られました。

昔と比べ臼数も減り、規模が小さくなってきましたが、これからも当院の伝統行事として続けていきたいと思っております。



受け継がれる伝統行事

# 院内研究発表会

12月18日、当院多目的ホールにて院内

研究発表会が行われました。各部署での業務改善事例や症例報告など計8題が報告されました。なかでも「救急対応の実践トレーニング」では、院長より「緊急時に落ち着いて対応できるよう継続することが大切である」との講評がありました。今後も院内研究等を通して医療の質の向上につなげられるよう院内研究に取り組んでいきたいと思っております。



発表の様子

# 編集後記



あけましておめでとうございます。本年も防府病院ともども「いちようだより」をよろしくお願いいたします。今年は成年なので、当院も犬のように、増していく寒さに負けぬぐらい力強く邁進していきたいと思っております。

